

しごと部会

2025年 8月19日 全体会資料

岡森 吉彦（豊岡市社会福祉課）
塩原 太一（NPO法人ぷろじえくとPlus）
田淵 健（豊岡市社会福祉協議会）
中嶋 亮（豊岡市社会福祉課）
南 克伸（兵庫県立出石特別支援学校）

（五十音順に記載）

○ 西村 弘文（特定非営利活動法人サポート歓）

2024年度の取り組み（部会 11回開催）

目的

企業や地域から出る仕事・作業に関するニーズを集約し、仕事・作業がしたい障害者やひきこもり、生活困窮者につなげる仕組みづくりを検討する

協議内容

- ① 社会調査の方法をオンラインで協議
- ② 既存の就労支援機関の機能と現状の整理
ハローワーク、但馬障害者就業・生活支援センター、若者サポートステーション
- ③ 支援者向けアンケートの対象事業所、内容を検討
相談支援事業所、就労継続支援事業所、就労支援・職業紹介機関、相談機関（生活困窮・若者・ひきこもり等）
- ④ 支援者向けアンケートの実施

しごと部会が目指すもの

- ・ より工賃の高い作業を見つけたい
- ・ 利用者に合った作業を受注したい
- ・ 長時間働くのはあまり自信がない
- ・ 自宅や空き家の管理、片付けに困っている
- ・ 得意な仕事があるけど生かす機会がない
- ・ 働き手が見つからなくて困っている

(仮称)
しごと
センター

- ・ 障害者の工賃向上
- ・ 授産作業メニューの拡大
- ・ 就労の機会の増加
- ・ 就労選択の幅の増加
超短時間就労、在宅ワークなど
- ・ 地域の困りごとの解消
除雪、除草、農作業、掃除、買い物等
- ・ 企業の働き手の確保

しごとセンターの機能概要

① 就労系事業所への請負業務コーディネート

企業、地域、行政等から就労系事業所へ依頼したい業務をセンターが開拓・集約。

市内各事業所の希望、体制等に応じて請負先を調整。

→就労系事業所の支援方針や利用者に合わせた作業内容を調整可能、事業所の負担軽減、市内の人手不足解消

② 対象者個人への作業等マッチング

登録者個人の就労に関する希望や実情に応じた作業等をマッチングする。

→対象者の就労機会の増加、工賃向上、自己理解が深まり就労への意欲醸成

しごとセンター設立案の今後について

実現可能かつ目的に沿う内容のみに絞って部会で検討を行う

〈決定の要素〉

- ・ 実現できるとして想定する業務を委託できる事業所が思いつかない
- ・ 多くの人手を要しないアプリ等の活用は開発に多くの費用がかかる
- ・ 目的、理想が多くしごとセンターに多くの機能を求めすぎた
- ・ アンケート結果から市内関係者の意見を踏まえて事業内容を絞ることとした

→ もっと事業内容を絞り、市内障害者就労の課題解決の目標に沿った実現可能な事業内容を探る

2025年度の取り組み計画

取り組み

- ① 前年度より継続
 - ・ 支援者向けアンケートの回答の集計
 - ・ センター設立の必要性の整理
- ② 新たな課題への取り組み
 - ・ ちょうせい会議より課題を提案
 - ・ 部会で新たな課題の検討をおこなう

部会

■ 部会開催の予定 1回／約2か月

第1回 令和7年5月13日（火）

第2回 令和7年7月14日（月）